

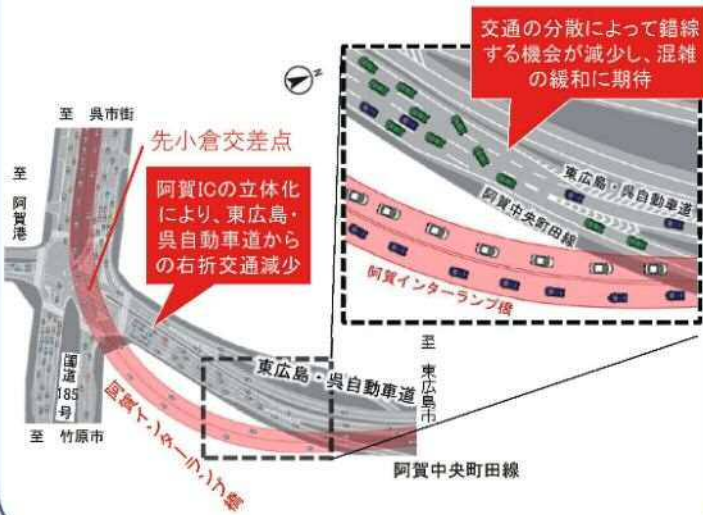
阿賀IC立体化の整備効果

阿賀IC立体化により、次のような効果が期待されます。

先小倉交差点を中心とした渋滞の緩和

立体化により、呉市街方面～東広島市方面の各流動がスムーズとなり、先小倉交差点の渋滞緩和が期待されます。

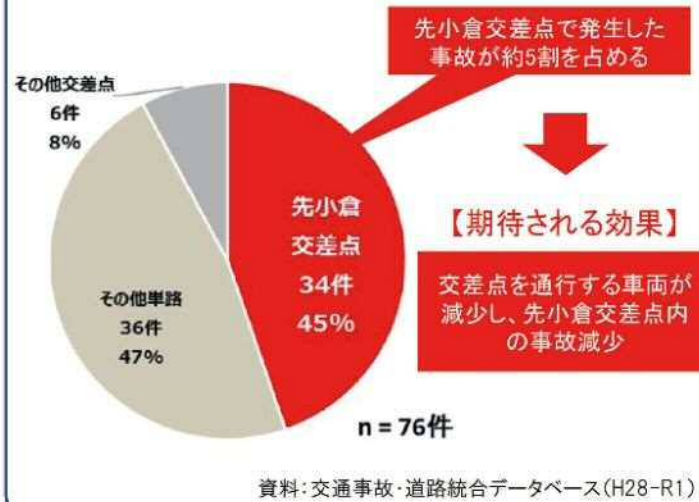
【阿賀IC立体化完成後による混雑緩和のイメージ】



先小倉交差点で発生する交通事故の減少

立体化により、交差点を通行する車両が減少し、先小倉交差点内の事故減少が期待されます。

【東広島・呉自動車道での事故件数内訳】



高次医療施設への安定した救急搬送

立体化により、東広島市から呉医療センターへの救急車両の走行性が改善し、スムーズな搬送に寄与することが期待されます。

【救急車両の走行性改善】



空港アクセス性の向上

立体化により、ピーク時の混雑が緩和され、広島空港～呉駅でのバス走行時間の安定性向上が期待されます。

【呉広島空港線エアポート運行経路】



東広島・呉自動車道

HIGASHIHIROSHIMA-KURE EXP-WAY

阿賀IC立体化事業



陸へ、海へ、空へ。そして地域の明日の夢につながる道路です。

事業概要

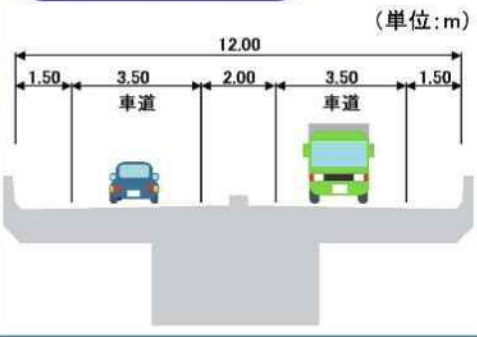
東広島・呉自動車道阿賀IC立体化事業は、広島県呉市先小倉交差点周辺交通混雑の緩和や交通事故の削減等を目的とした交差点立体化事業です。
 平成28年度に事業着手、平成29年度に工事着手し、令和4年3月19日に広島県呉市広横路2丁目～呉市阿賀中央5丁目までの約0.9kmの立体化が完成しました。



諸元

起終点	起点：広島県呉市広横路2丁目 終点：広島県呉市阿賀中央5丁目
計画延長	L=0.9km
道路規格	第1種3級(ランプA規格)
設計速度	40km/h
車線数	2車線

標準断面図



開通後の状況



経緯

平成5年度	事業着手(阿賀IC～馬木IC) 事業着手・用地着手(馬木IC～高屋JCT・IC)
平成7年度	工事着手(馬木IC～高屋JCT・IC)
平成11年度	工事着手(阿賀IC～郷原IC)
平成19年度	工事着手(郷原IC～馬木IC) 馬木IC～上三永IC(平成19年11月 2/4車供用)
平成21年度	上三永IC～高屋JCT・IC(平成22年3月 2/4車供用)
平成24年度	阿賀IC～黒瀬IC(平成24年4月 2/4車供用)
平成26年度	黒瀬IC～馬木IC(平成27年3月 2/4車供用)
平成28年度	事業着手(阿賀IC立体化)
平成29年度	工事着手(阿賀IC立体化)
平成29年度	大田多IC(平成29年4月 開通)
令和3年度	阿賀IC立体化(令和4年3月)